

安全にお使いいただくために必ずお読みください

ここでは、あなたや他の人々への危険や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。その読みと図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。なお、さらに詳細な内容を「[ユーザーズマニュアル](#)」に記載しておりますので、そちらもあわせてお読みください。

本書中のマーク説明

警告：人が死亡する、または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意：人が軽傷を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

お願い：本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止をまねく内容を示しています。

図記号の説明		
 ■ 警告・注意を促す記号	 ■ 行為を禁止する記号	 ■ 行為を指示する記号
 発火注意	 高温注意	 一般禁止
 感電注意	 分解禁止	 ぬれ手禁止
 破裂注意	 水ぬれ禁止	 風呂等での使用禁止
 一般指示	 火気禁止	 一般指示
 電源プラグをコンセントから抜く		

警告

電源

- AC100Vの家庭用電源以外では使用しないでください。また、差し込み口が2つ以上ある壁の電源コンセントに他の電気製品のACアダプタを差し込む場合は、合計の電流値が電源コンセントの最大値を超えないようご注意ください。
- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したりしないでください。
- ACアダプタは、たこ足配線にしないでください。

- ACアダプタは、必ず本商品に添付のものをお使いください。また、本商品に添付のACアダプタは、他の製品に使用しないでください。
- ACアダプタにものをのせたり布を掛けたりしないでください。

- 本商品に添付のACアダプタは日本国内AC100V(50/60Hz)の電源専用です。他の電源では使用しないでください。
- ACアダプタは風通しの悪い狭い場所(収納棚や本棚の後ろなど)に設置しないでください。また、ACアダプタは、電源コンセントの近くに設置し、容易に抜き差し可能な状態でご使用ください。
- ACアダプタをコンセントに差し込んだ状態で、ACアダプタに強い衝撃や無理な力を与えたり、ねじったりしないで、まっすぐ抜き差ししてください。特に、回転式の抜け止め型コンセントへ抜き差しする場合には、無理な力をかけないように注意してください。

こんなときは（本体および AC アダプタ）

以下の場合、すぐに本商品のACアダプタをコンセントから抜いて、Atermインフォメーションセンターにご連絡ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

- 煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のとき

- 本商品を水や海水につけたり、ぬらしたとき

- 本商品の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの、異物を差し込んだり落としたりしたとき

- 電源コードが傷んだ状態（芯線の露出・断線など）のとき

- 本商品を落としたり破損したとき

- 本商品の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの、異物を差し込んだり落としたりしたとき

- 電源コードが傷んだ状態（芯線の露出・断線など）のとき

- 本商品を落としたり破損したとき

- 本商品は家庭用の電子機器として設計されております。人命に直接関わる医療機器や、極めて高い信頼性を要求されるシステム(幹線通信機器や電算機システムなど)では使用しないでください。

- 本商品を分解・改造しないでください。

- ぬれた手で本商品を操作したり、接続したりしないでください。

- 本商品の内部や周囲でエアダスターやダストスプレーなど、可燃性ガスを使用したスプレーを使用しないでください。

その他の注意事項（本体および添付品）

- 航空機内や病院内などの無線機器の使用を禁止された区域では、本商品の電源を切ってください。

- 本商品は、高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器や心臓ペースメーカなどの近くに設置したり、近くで使用したりしないでください。

- 本商品のそばに花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。

- 風呂場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは設置および使用はしないでください。

注意

設置場所（本体および添付品）

本商品を設置する際は、必ず添付のスタンドを使用して、本商品の周囲に十分なスペースを確保してください。また、設置の際は、以下のことにご注意ください。

- 本商品は温度 0～40℃、湿度 10～90％の結露しない環境でご使用ください。
- 本商品を重ね置きしないでください。

- 直射日光の当たるところや、ストーブ、ヒータなどの発熱器のそばなど、温度の高いところに置かないでください。

- 温度変化の激しい場所（クーラーや暖房機のそばなど）に置かないでください。

- 調理台のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、ほごりの多い場所に置かないでください。

- ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。また、本商品の上に重いものを置かないでください。

- 本商品は垂直面以外の壁や天井などには取り付けないでください。

- 次のような使いかたはしないでください。
<悪い例>
・収納棚や本棚、箱などの風通しの悪い狭い場所に押し込む
・じゅうたんや布団の上に置く
・テーブルクロスなどを掛ける

電源

- 本商品の電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。抜くときは、必ず AC アダプタ本体を持って抜いてください。

- 本商品の電源プラグとコンセントの間のほころひは、定期的（半年に1回程度）に取り除いてください。

- お手入れの際は、安全のため必ず AC アダプタをコンセントから抜いてください。

- 移動させる場合は、本商品の AC アダプタをコンセントから抜き、外部の接続線を外したことを確認のうえ、行ってください。

- 長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず本商品の AC アダプタをコンセントから抜いてください。

- 本商品の使用中や使用直後に AC アダプタが高温になる場合があります。

禁止事項（本体および添付品）

- 本商品に乗らないでください。特に小さいお子様のいるご家庭ではご注意ください。

- 雷が鳴りだしたら、電源コードに触れたり周辺機器を接続したりしないでください。

その他の注意事項（本体および添付品）

- 取扱説明書にしたがって接続してください。間違えると接続機器や回線設備が故障することがあります。

お願い

設置場所（本体および添付品）

- 本商品をコードレス電話機やテレビ、ラジオなどの近くで使用すると、コードレス電話機の通話にノイズが入ったり、テレビ画面が乱れるなど受信障害の原因となることがあります。このような場合は、お互いを数 m 以上離してお使いください。

- 本商品と子機の距離が近すぎるとデータ通信でエラーが発生する場合があります。このような場合は、お互いを 1m 以上離してお使いください。

禁止事項（本体および添付品）

- 本商品の電源を入れたあと、すぐに電源を切らないでください。60 秒以上の間隔をあけてから電源を切ってください。すぐに電源を切ると故障の原因となることがあります。

- 本商品の電源を切ったあと、すぐに電源を入れ直さないでください。10 秒以上の間隔をあけてから電源を入れてください。すぐに電源を入れたと電源が入らなくなることがあります。

ご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断転載・無断複写することは禁止されています。
- 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り・記載もれなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。
- 本商品の故障・誤動作・天災・不具合あるいは停電などの外部要因によって通信などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- セキュリティ対策をほどこさず、あるいは、無線 LAN の仕様上やむをえない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社は、これによって生じた損害に対する責任は一切負いかねますのであらかじめご了承ください。
- せつかくの機能も不適切な扱いや不測の事態（例えば落雷や漏電など）により故障してしまつては能力を発揮できません。取扱説明書をよくお読みになり、記載されている注意事項を必ずお守りください。

本商品で使用しているソフトウェアについて

本商品には、GNU General Public License（GPL）または GNU Lesser General Public License（LGPL）に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。お客様は、当該ソフトウェアのソースコードを入手し、GPL または LGPL にしたがひ、複製、頒布および改変することができます。詳細は「[ユーザーズマニュアル](#)」を参照してください。

無線 LAN 製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意

無線 LAN では、ETHERNET ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等と本商品間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという点があります。その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁等）を超えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のようないざこざの問題が発生する可能性があります。

- 通信内容を盗み見られる
- 悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、ID やパスワード又はクレジットカード番号等の個人情報メールの内容等の通信内容を盗み見られる可能性があります。
- 不正に侵入される
- 悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）
- 特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
- 傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
- コンピュータウイルス等を流しデータシステムを破壊する（破壊）等の行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線 LAN 製品は、セキュリティに関する仕組みを持っていないので、その設定を行って製品を使用することで、上記問題が発生する可能性は少なくなります。

セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を充分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお奨めします。

セキュリティ対策をほどこさず、あるいは、無線 LAN の仕様上やむをえない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社はこれによって生じた損害に対する責任は一切負いかねますのであらかじめご了承ください。

なお、無線 LAN をより安全にお使いいただくために、本商品の暗号化キー、PIN コードは定期的に変更することをお奨めします。変更は、[クイック設定 Web](#)で行います。（※右上の「[クイック設定 Web の起動方法](#)」暗号化キーは「Wi-Fi 詳細設定」、PIN コードは「WPS 設定」の画面で変更してください。

メンテナンスバージョン機能に関する許諾について

メンテナンスバージョンアップ機能は、本商品のソフトウェアに重要な更新があった場合に、インターネットを介して自動でバージョンアップする機能です。

「重要な更新」とは、NEC プラットフォームズ株式会社（以下「当社」とします。）が本商品の機能を提供するうえでソフトウェアのバージョンアップが必要と判断した場合（例えばセキュリティ上の不具合を改善するソフトウェアの更新など）を示します。重要な更新がある場合は、当社ホームページの「製品に関する重要なお知らせ」にてご案内します。

メンテナンスバージョンアップ機能が開始されると、本商品が再起動するため、それまで接続していた通信が切断されます。また、従量課金契約の場合、ソフトウェアダウンロードによる通信費用や、パケット通信量超過による速度制限が発生する場合があります。発生した通信費用はお客様ご負担となります。

本機能では、本商品に関する情報のうち、本機能が動作するために必要な最小限度の機器情報・ネットワーク情報を当社が運用するサーバへ通知します。これらの情報は、本機能の実現と本商品や本機能の改善・向上のために利用し、これ以外の目的では利用しません。また、これらの情報は、当社の取り扱い手続きに則り、適切な管理を行います。当社が第三者と連携して本機能を利用する場面につきましても、当社の取り扱い手続きと同様に適切な管理を実施します。

本機能は、工場出荷時に有効（使用する）になっています。本機能に関して許諾しただけな場合は、下記手順で機能を無効（使用しない）にしてください。ただし、本機能を無効にした場合、セキュリティ上の不具合を改善するような重要なソフトウェアの更新であっても、自動的にバージョンアップは行いません。改修前のソフトウェアをそのまま使用し続ける場合、悪意のある第三者から不正なアクセスをされる危険が残る可能性があります。

- <無効にする方法>
① クイック設定 Web を起動する。（※右記「[クイック設定 Web の起動方法](#)」をその方法）
<無効にする方法>
② 「ファームウェア更新」の画面を表示する。
③ 「ファームウェア更新」（または「メンテナンス」→「ファームウェア更新」）を選択して表示します。
④ 「メンテナンスバージョンアップ機能」で「使用しない」を選択する
⑤ 「設定」をクリックする

電波に関する注意事項

- 本商品は、技術基準適合証明を受けています。
- IEEE802.11ac、IEEE802.11n（5GHz帯）、IEEE802.11a 通信利用時は、5GHz 帯域の電波を使用しております。5.2GHz、5.3GHz 帯域の電波の屋外での使用はすべて禁じられています。
- 5GHz 帯で使用するチャネルは 36,40,44,48ch（W52）と 52,56,60,64ch（W53）と 100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140ch（W56）です。従来の IEEE802.11a で使用の 34,38,42,46ch（J52）の装置と IEEE802.11a モードでの通信はできません。

IEEE802.11a/n/ac	・ W52（5.2GHz 帯 /36,40,44,48ch）、
J52 W52 W53 W56	・ W53（5.3GHz 帯 /52,56,60,64ch）、
	・ W56（5.6GHz 帯 /100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140ch）が利用できます。

5GHz 帯で接続する子機は、以下の表示があるものを推奨します。

- ・ W52（5.2GHz 帯 /36,40,44,48ch）
- ・ W53（5.3GHz 帯 /52,56,60,64ch）
- ・ W56（5.6GHz 帯 /100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140ch）
- W53（5.3GHz 帯 /52,56,60,64ch）（100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140ch）を選択した場合は、法令により次のような制限事項があります。
 - ・各チャネルの通信開始前に、1 分間のレーダー検出を行いますので、その間は通信を行えません。
 - ・通信中にレーダー波を検出した場合は、自動的にチャネルを変更しますので、通信が中断されることがあります。
- IEEE802.11n（2.4GHz 帯）、IEEE802.11g、IEEE802.11b 通信利用時は、2.4GHz 帯域の電波を使用しており、この周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

- 本商品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
- 万一 本商品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合は、速やかに本商品の使用チャネルを変更するか、使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。なお、デュアルチャネル（HT40）を「使用しない」に設定変更することで改善することもあります。
- その他、電波干渉の事例が発生し、お困りのことが起きた場合には、Aterm インフォメーションセンターにお問い合わせください。

- Bluetooth 機器との通信はできません。

- IEEE802.11n（2.4GHz 帯）、IEEE802.11g、IEEE802.11b 通信利用時は、2.4GHz 全帯域を使用する無線設備であり、移動体識別装置の帯域が回避可能です。変調方式として DS-SS 方式および OFDM 方式を採用しており、与干渉距離は 40m です。

2.4 DS/OF 4	2.4	： 2.4GHz 帯を使用する無線設備を示す
	DS/OF	： DS-SS 方式および OFDM 方式を示す
IEEE802.11b/g/n	4	： 想定される干渉距離が 40m 以下であることを示す
	■	： 全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する

電波障害自主規制について

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としています。この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。	VCCI-B
---	--------

輸出する際の注意事項

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり外国の規格などには準拠しておりません。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切責任を負いません。また、弊社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポートなどは行っておりません。本製品の輸出（非居住者への役務提供等を含む）に際しては、外国為替及び外国貿易法等、関連する輸出管理法等をご確認の上、必要な手続きをお取りください。
ご不明な場合、または輸出許可等申請手続きにあたり資料等が必要な場合には、お買い上げの販売店またはお近くの弊社営業拠点にご相談ください。

廃棄方法について

この商品を廃棄するときは地方自治体の条例に従って処理してください。詳しくは各地方自治体にお問い合わせ願います。

本商品の設定を変更する場合は

本商品の設定を変更する場合は、設定画面「クイック設定 Web」で設定します。クイック設定 Web の起動方法は下記の通りです。

クイック設定 Web の起動方法

- WWW ブラウザのアドレス欄に下記を入力して起動してください。
http://aterm.me/
※ [aterm.me] 部分を、本商品の IP アドレス（工場出荷状態は 192.168.10.1）にして起動することもできます。
※ ユーザー名/パスワード入力画面が表示された場合は、「ユーザー名」（上段）には「admin」と半角小文字で入力し、「パスワード」（下段）にはお客様が設定した管理者/パスワードを入力して、[OK] をクリックしてください。
管理者パスワードがわからない場合は本商品を初期化してください。（※ 表面「初期化方法」）
※ プリッジモード（ルータ機能停止）でご利用の場合（ACTIVE ランプが点灯している場合は、下記の手順で起動してください。
① 本商品の電源をいったん切る
② 本商品のらくらくスタートボタンを押しながら電源を入れ、2.4GHz ランプが赤点減したらから→本商品の強制 DHCP サーバ機能が発動します。起動中は 2.4GHz ランプが赤点減します。
③ WWW ブラウザのアドレス欄に「http://192.168.1.210/」と入力して起動する
※ クイック設定 Web で設定した内容は、「設定」をクリックしたあと本商品を再起動することで、登録されます。

トラブルシューティング

ご利用にあたり、考えられるトラブルとその対処を下記に記載しました。
※ この他にサポートデスクの「機種名で探す」 - [WG120HS] にある [Q&A] でもさまざまなトラブルと対処を掲載していますので、そちらも合わせて参照してください。
※ 解決しない場合は、本商品を初期化（※ 表面「初期化方法」）し、はじめから設定し直してお試しください。

- POWER ランプが消光している**
電源が入っていません。**STEP1** を参照して、AC アダプタが確実に接続されていることを確認してください。

ブロードバンドモデムが設置されていない場合の接続方法は？

マンションタイプのインターネット接続回線の場合、ブロードバンドモデムが設置されていない場合があります。その場合は、本商品の電源を切り、本商品の WAN ポートと、壁などにあるインターネット接続用を ETHERNET ケーブルで接続後、本商品の電源を入れてください。

- CATV（ケーブルテレビ）回線を使用しているが、ACTIVE ランプが点灯せず、インターネットに接続できない**

ご利用のモデムによっては、過去に接続したネットワーク機器の MAC アドレスを記憶しているため、モデムの設定をリセットする必要がある場合があります。本商品、モデムの順番で電源を切り、しばらくしてから電源を入れ直します。なお、ケーブルテレビ会社によっては、モデムの設定をリセットするためには、モデムの電源を 20～30 分もしくは 24 時間切っておく必要がある場合があります。ご利用のケーブルテレビ会社へご確認ください。

- ACTIVE ランプが橙色に点灯している**

正常なランプ表示です。ブリッジモード（ルータ機能停止）になっています。ルータモード（ルータ機能を使う）に戻す場合は、電源をいったん切って、RT/BR モード切替スイッチを RT 側に切り替え、再度、電源を入れてください。

- クイック設定 Web が対応している WWW ブラウザは？**
クイック設定 Web が対応している WWW ブラウザについての最新情報は、AtermStation（http://aterm.jp/）（2018 年 7 月現在）でご確認ください。

- クイック設定 Web が開かない**

- ご使用のパソコンにプロキシが設定されていたり、ファイアウォール、ウィルスチェックなどのソフトがインストールされている場合、設定ができなかったり、通信が正常に行えない場合があります。
- センダリ SSID に Wi-Fi 接続している場合は、^(※)、工場出荷状態でネットワーク分離機能が設定されているため、クイック設定 Web は表示できません。その場合は、いったん有線で本商品とパソコンを接続するか他の子機からプライマリ SSID に接続して、クイック設定 Web を表示してください。
- ^(※) AES に対応していない子機から Wi-Fi 接続する場合など。

- JavaScript が無効に設定されている
→ WWW ブラウザの設定で JavaScript を有効に設定してください。
- IP アドレスの取得がうまくいっていないことが考えられます。パソコンの IP アドレスを自動取得に設定してお試しください。

- 本商品を再起動したら、インターネット接続できなくなった**

本商品の電源を入れた直した場合は、クイック設定 Web で設定を変更した場合は、本商品が再起動します。本商品を再起動すると、Wi-Fi 接続が切断されますので、ご使用の子機から再度接続を行ってください。

- Aterm らくらく QR スタートや Aterm らくらく「かざして」スタートで、Wi-Fi 接続に失敗する**
● Aterm らくらく QR スタートの Web サイト（http://qr.aterm.jp）（2018 年 7 月現在）または Aterm らくらく「かざして」スタートの Web サイト（http://nfc.setup.aterm.jp）（2018 年 7 月現在）にあるトラブルシューティングのページで、Wi-Fi 接続に失敗した場合の対処方法をご案内しています。
● スマートフォン/タブレット端末の環境で使用する場合に Wi-Fi 機器との相性の問題により、正しく動作しない場合があります。その場合は、**STEP 2** の「その他の子機の場合」を参照して、Wi-Fi 接続してください。

- 無線 LAN 対応のプリンタから Wi-Fi 接続できない**
プリンタの電源（ワイヤレス）機能は有効（ON）にしてから、本商品のネットワーク名（SSID）と暗号化キーをプリンタに設定してください。なお、WPS に対応している場合は、WPS 機能で Wi-Fi 接続できます。（サポートデスクの「[Q&A 検索]」で「WPS」を検索することができます。）また、らくらく無線スタートに対応している場合は、らくらく無線スタートで Wi-Fi 接続できます。[\[ユーザーズマニュアル\]](#)

お問い合わせ